

Do you know?

府市大統合 vol.2

NASCA vol.38で府市大統合について、新大学が始まるまでのスケジュールや新大学の学部・学域、キャンパスについて紹介しました。今回は、府市大統合の現状と府市大統合に関しての今までの大学内外の動きについて紹介します。

○府市大統合の現状

・今までに

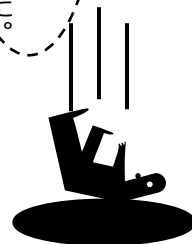
府大と市大の統合に関して新大学構想会議で6回、大阪府市新大学構想会議で平成26年4月現在まで4回の会議が開かれています。そして、平成25年1月に新大学案〈提言〉が発表され、その後4月に新大学ビジョン案、10月に新大学案と新法人基本方針が策定されました。10月に策定された案をもとに、平成28年4月の新大学スタートに向け取り組みを進められていました。

しかし、平成25年11月に橋下大阪市長が統合に先立ち、市大の理事長・学長の分離のための関連議案を市議会に提出しましたが、大阪維新の会を除く公明、民主、自民、共産の4会派の反対多数で否決されました。そのため、平成26年度4月に行われる予定（下表参照）の理事長・学長の分離が行われなくなりました。

さらに、平成26年2月3日に「大阪都」構想に関する他党との議論が難航していることを理由に橋下大阪市長が辞職を表明しました。そして、出直し選挙が行われ、23日の投開票で再選が決まりました。

平成 26年度	組織の実質的統合 2法人2大学	4月	新理事長・学長の任命 新大学設置申請書の作成
		6月 (年内)	入試科目の公表 学内最終手続（委員会・審議機関等）
		2月	新法人に関わる中期目標の策定、中期計画の策定
		3月	新大学設置認可申請
平成 27年度	法人統合 1法人2大学	4月	新中期目標スタート
		5月	大学設置・学校審議会への諮問
		10月	新大学設置の認可（見込） 学生募集・入試（認可後）
平成 28年度	大学統合 1法人1大学	2月	新大学に関わる中期目標の変更、中期計画の変更
		4月	新大学スタート キャンパスの整理

本来ならこのように
進められる予定でした。



新大学案(平成25年10月版)より

・そして今

そして、平成26年4月25日に両大学のホームページ上で、府市大統合のスケジュールに関する発表がありました。その内容は以下のとおりです。

『大阪府、大阪市、並びに、大阪府立大学、及び大阪市立大学では、平成27年度に法人統合、平成28年度に大学統合をめざした取組みを推進してきたところですが、大学設置認可手続きにかかる審査スケジュールが前倒しされることとなり、平成28年に大学統合する場合、平成26年10月には正式な認可申請が必要となりました。

現状では、当初のスケジュールどおりに両大学の統合を進めることは、現実的に難しい状況であり、受験生への影響を勘案した結果、当初予定していた法人統合、大学統合にかかるスケジュールを延期することとしました。

今後は、この間の大学統合に関する議論の状況を踏まえ、両大学で、主体的に大阪における公立大学のあり方について検討していただき、そのうえで、今後の進め方やスケジュールについて、府市及び両大学の四者で、新大学構想会議からの意見もお聞きし、協議・検討していくこととしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。』

※大阪市立大学HPより抜粋

このように、府大と市大の統合については延期することとなりました。今後のスケジュールについては現在検討されています。

学生自治会では、府市大統合のことなど様々な情報を学生に発信しています。昨年からは学生自治会は Twitter を始めました。府市大統合以外にも、5月から変更される自転車登録制度など大学生活に関わる情報を発信しているため、ぜひ見てください。



学生自治会 twitter

○府市大統合に関するの大学内外の動き

・市大学生「拙速な統合に・・・」

理事長・学長の分離のための関連議案は大阪維新の会以外の会派の反対多数で否決されましたが、大阪維新の会以外の会派賛成多数で採択されたものがあります。それは、平成25年3月に大阪市会議長に提出された「市立大学と府立大学の拙速な統合撤回を求める陳情書」です。これは、大阪市立大学に在学する学生が提出したもので、「新大学構想の中身が学生や市民、府民にほとんど知らされていない」「拙速な統合を押し進めることをやめていただきたい」ということが書かれています。ちなみに「拙速」とは、「出来は悪いが仕上がりは速いこと」（三省堂『大辞林 第三版』より引用）という意味です。

・大阪府大学教職員組合「大学自治の原則が揺らぐ」

大阪府大学教職員組合は、公立大学法人大阪府立大学に勤務する教職員が組織する労働組合です。平成25年9月18日に大阪府大学教職員組合執行部は府立大学理事長奥野武俊氏と理事長会見を行っています。大阪府大学教職員組合は学域体制が完成年度を迎えていない点に触れ、大学の自主性、自立性が損なわれるのではないかと質問を投げかけています。

平成25年10月10日に大阪府大学教職員組合は府立大学理事長奥野武俊氏宛てに「新大学案に対する意見書」を提出しています。これは、平成25年8月27日に開催された第4回大阪府市新大学構想会議に対して両大学から提出された「新大学案（素案）～新世代の大学～大阪モデル」に対するものです。この意見書では、「新大学案（素案）」に大学の自主性・自律性が十分に主張されておらず、大学自治の原則が揺らぐのではないのかと危惧する内容が書かれています。

これらの理事長会見や意見書について詳しい内容が見たいという方は、大阪府大学教職員組合ウェブサイトの府大教ニュースをご覧ください。

大阪府大学教職員組合

URL : <http://www.eonet.ne.jp/~fudaikyou/>

・大阪市立大学教職員労働組合「消滅の危機にある」

大阪市立大学教職員労働組合は平成25年6月18日に「大阪市立大学・大阪府立大学の統合問題に関する見解」を公開しました。「大阪市立大学は今、消滅の危機にある」から始まるこの見解は、この統合問題が「大阪市立大学が消滅、大阪府立大学が存続」というシナリオが有力視されると言及し、拙速な統合に反対するとしています。

・府立大学・市立大学「アンケート実施 学生の質問に答える」

府立大学、市立大学では平成26年の1月から2月にかけて、学生を対象に「新大学に向けて」のアンケート調査を行いました。なお、アンケートは両大学合同での実施ではなく、それぞれの大学で独自に実施されました。

このアンケートは新大学案（平成25年10月版）に対する質問などを聞いており、府立大学と市立大学の両大学とも質問に対する回答を発表しています。回答は各大学のウェブサイトから誰でも見ることができます。

大阪市立大学HP

右のQRコードから市立大学でのアンケートの回答を見ることができます。

（在校生の皆さまの欄の「取り纏め結果」から、アンケートの回答をダウンロードできます）



・その他

平成25年10月15日には、市大名誉教授の宮本憲一氏、府大名誉教授の小林宏至氏ら計21氏の市大・府大関係者が会見をし、「橋本市長の大学自治への介入と府大・市大の拙速な統合を憂慮する」との声明を発表しました。

また、現在大阪府立大学問題を考える会、大阪市立大学の統合問題を考える会では「大阪府立大学と大阪市立大学の拙速な統合はやめてください」という要請署名活動に取り組んでいます。この署名は大阪府知事の松井一郎氏と大阪市長に宛てられています。署名用紙は大阪府立大学問題を考える会、大阪市立大学の統合問題を考える会のウェブサイト上からダウンロードできます。